

## はじめに——明らかになってきたカメムシの生態・生活史

カメムシといえば、昔から悪臭を放つ「くさい虫」とされ、嫌われ者の害虫のイメージが強くありました。そのカメムシが、昨今の温暖化の影響で大量発生！原因は、好物のスギ・ヒノキの球果の豊作による繁殖力アップや、暖冬で越冬する世代数の増加といわれ、全国各地で農作物に大きな被害を与えています。特に、斑点米カメムシによる稲作の被害は深刻で、2023年度産米の被害額は約33億円、「令和の米騒動」の一因にもなりました。

ただ「カメムシ」とひと口に言っても、その種類は日本だけで1250種余り。田んぼのイネカメムシやアカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメに代表される〈斑点米カメムシ類〉をはじめ、果樹園に飛来するチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシといった〈果樹カメムシ類〉など、作物の汁を吸って被害を与える「害虫カメムシ」だけでなく、タバコカスミカメのように、ピーマンの害虫となるアザミウマを食べてくれる「天敵カメムシ」もいます。これまでカメムシの暮らし（生態・生活史）の多くは謎に包まれていましたが、近年の研究で少しずつ明らかになってきました。例えば、イネカメムシはイネの出穂まで越冬場所に待機していることや、イネだけでなく、メヒシバなど一部のイネ科雑草も好むことなど、対象となるカメムシの素顔や暮らしがわかれば、上手な防ぎ方・活かし方も見えてきます。

現状では、浸透性・持続性に優れるネオニコチノイド系殺虫剤が、カメムシの防除に高い効果を持つことから広く使われています。しかし、ミツバチや赤トンボなど生態系への影響が懸念されており、環境や生物多様性に配慮した脱ネオニコの動きも広がっています。

本書は、雑誌『現代農業』に掲載したカメムシに関する記事を再編集し、現場で役立つ一冊にまとめました。皆さまのカメムシ対策の一助になれば幸いです。

2026年4月

農山漁村文化協会 編集局

第2章

害虫カメムシの上手な防ぎ方

—— 田んぼ編

温暖化が原因？カメムシ大量発生！

こりゃひどい！害虫カメムシの悪行……………編集部 4

イネカメムシで収量8割減 稲作歴17年でこんな初めて…………… 6

いま、田んぼで幅を利かせているのはこいつらだ！……………編集部 8

最低限の防除で抑えるコツ

切り札「おとりイネ」に集めて一網打尽……………愛知県●尾崎大作 30

「すくい取り調査」で防除要否を判断……………茨城県●横田修一 33

積雪前の除草剤散布で越冬世代を餓死させる……………福井県●杉田正之 36

石灰で防ぐ

やってよかった！石灰散布で色選いらす……………山形県●高橋潤一 38

石灰大好き長崎さんの散布現場を見た……………(秋田県●長崎正子さん) 40

ドローンで消石灰散布 カメムシが寄ってこない……………(高知県●ひろちゃん農園) 43

第1章

ここまでわかった！

カメムシの暮らしざり

身近なカメムシ13種の自己紹介……………編集部 12

イマドキのカメムシ事情……………編集部 16

最新研究明らかになってきたイネカメムシの謎生態…………… 23

コラム 本書に登場する「こいつ」は解説&さくしん……………編集部 28

農研機構植物防疫研究部門●世戸口貴宏

第4章

天敵カメムシを活かす

天敵カメムシの実力

タバコカスミカメで黄化えそ病からピーマンを守る……………(茨城県●原秀吉さん) 76

捕獲&定着のワザ

タバコカスミカメの「はたき落とし個別放飼法」……………鹿児島県●下前泰雄 80

コラム 新たな天敵温存植物 キンセンカ、ニコチアナに期待……………香川県●豊嶋和人 84

第5章

知っておきたいネオニコの話

進む脱ネオニコ系殺虫剤——ミツバチとヒトへの影響……………編集部 86

脱ネオニコで田んぼにコウノトリがやって来た…………… 90

カエルたちの力を借りて、カメムシ害を防ぐ……………愛知県●尾崎大作 92

殺虫剤のRACコードによる分類一覧…………… 94

第3章

害虫カメムシの上手な防ぎ方

—— 畑・果樹園編

予察的防除の実際

アブラナ科のカメムシ3種 居ぬ間に防虫ネット、早期に捕殺…………… 54

ナス畑のホオズキカメムシ 天敵にやさしいコルトが切り札……………福岡県●鶴峻之祐 57

リンゴ畑への飛来時期を予測、効果的な薬剤散布で叩く……………茨城県●黒田恭正 60

繁殖期直前の早期防除&バグ吊り下げ捕殺で数を減らす……………群馬県●栗林寛 63

ニオイで防ぐ

リンゴ畑にサンショウとニンニクを植えた……………(広島県●島津宏さん) 66

漢方のニオイで寄せつけない……………広島県●森昭暢 67

おびき寄せて叩く！

害虫カメムシも天敵カメムシも「おとりコマ」で集める……………香川県●豊嶋和人 68

コラム 畑の隅に電撃殺虫器……………福岡県●田邊稔 74

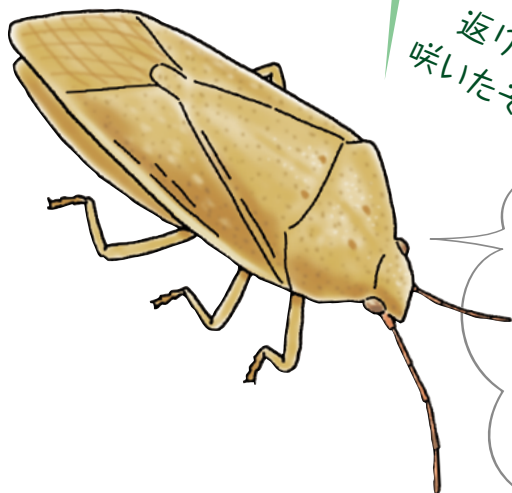
※各記事の最後に「現代農業」での初出を記載。執筆者・取材先の情報(肩書、所属など)、製品の情報については「現代農業」掲載時のものです。



# 身近なカメムシ

## イネカメムシ

⇒5ページ、8ページ、23ページ、35ページ



返り  
咲いたぞ

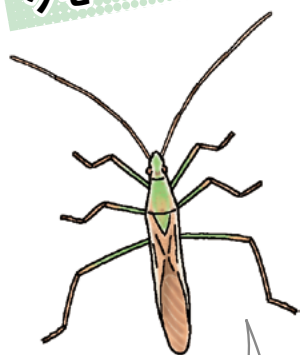
## ・田んぼ・

### こんな被害

斑点米が発生して品質低下。  
不稔で減収。

ワシはな、斑点米カメムシのなかでもかなりの古株なんじゃ。一時は衰えたものの、最近ようやく盛り返してきた。落ち葉の下などで越冬したら、雑草なんぞ見向きもせず、田んぼめがけて一目散。そこが他の者と違うところよ。夜行性なもんで、夕方から夜に米の汁を吸う。特にモミの付け根の部分が好みじゃなー。

## クモヘリカメムシ



自分はイネもイネ科雑草も、どっちもいけるっす。皆さんと比べると出足が遅く、動き出すのが6月頃なんすよ。

## アカスジカスミカメ

⇒36ページ、46ページ



西の  
横綱

## アカヒゲホソミドリカスミカメ



東の  
横綱

オイラたち、ホントはイネよりイネ科雑草のほうが好きなんだ。メヒシバとか、イタリアンライグラスとか、イヌホタルイとか。田んぼは後回し。

# 13種の自己紹介

カメムシは、ほとんどの種類が植物の汁を吸って暮らしているから、生活の場所は植物であり、農作物が栽培されている田んぼや畑は絶好の棲みかだ。そのカメムシにも農家の敵になるもの、味方になるもの、派手なの、地味なの、角ばっている、丸い……世界には何千、何万もの仲間がいるという。日本の田畑でよく見かける13種のカメムシたちに、まずは自己紹介をしてもらおう。

## ミナミアオカメムシ

⇒68ページ



さっさと  
さっさと

## 害虫 カメムシ

## ・野菜畑・

### こんな被害

茎や葉が萎れる。果実が凹んだり、スポンジ状になったりする。

ザ・カメムシといたら、やっぱりオレっしょ。トマトやナス、オクラなんかにはイタズラするけど、なにも好き好んでやってるわけじゃねーのよ。まずは、大好物のイネやダイズで腹ごしらえして繁殖。穀物が人間に収穫されちゃうから、仕方なく野菜畑へ行くんだ。オレと見た目も性格もそっくりなアオクサカメムシってヤツもいるぞ。

## ホオズキカメムシ

⇒4ページ、57ページ



名前の通り、ホオズキが好きですが、ナスやピーマンもいけます。あと、アサガオも。

## フキヒゲカメムシ

⇒73ページ



地域を問わず、イネ科やマメ科、ゴマ科など多くの植物に寄生しますが、ミナミアオさんほどは増えませんが、控えめなんです。



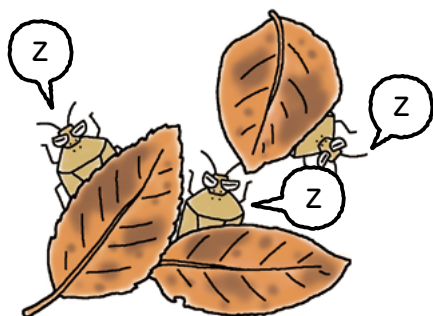
イネの葉についたイネカメムシの卵の抜け殻と幼虫 (写真提供=オリザネット)

# イネカメムシの1年

## 晩秋

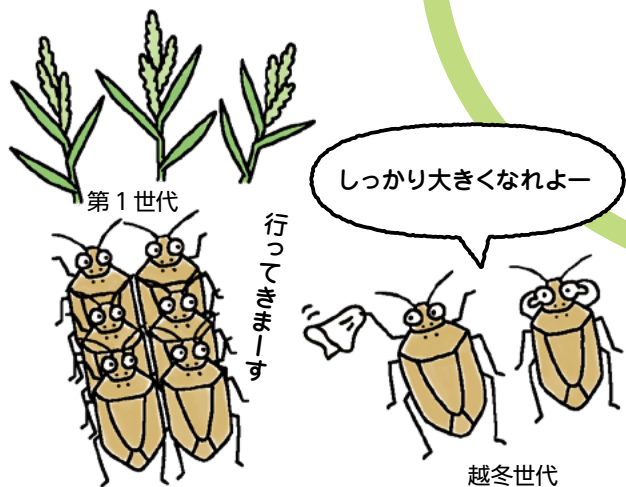
越冬地へ、お疲れさまでした

寒くなりエサがなくなったら、越冬地へ移動。適度に暖かく湿度があれば、いろいろなところで越冬できる



孫が生まれることも

天候や地域によっては移動した先の田んぼで産卵し、孫(第2世代)が生まれる

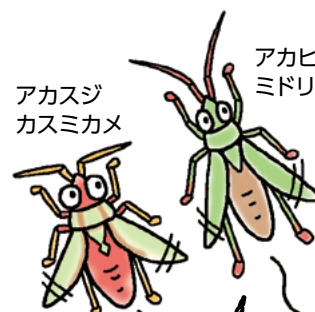


子どもが次の田んぼへ

卵から生まれた子ども(第1世代)が成虫になり、新たに出穂したイネに移動する。作期分散により出穂期を迎える水田が地域内で連続的に出現するようになったことが、イネカメムシ増加の原因の一つといわれる

## 春

イネの出穂をじっと待つ



まだ行かないの〜?

他の斑点米カメムシが雑草地へ向かうなか、越冬場所でイネの出穂を待つ



## 夏

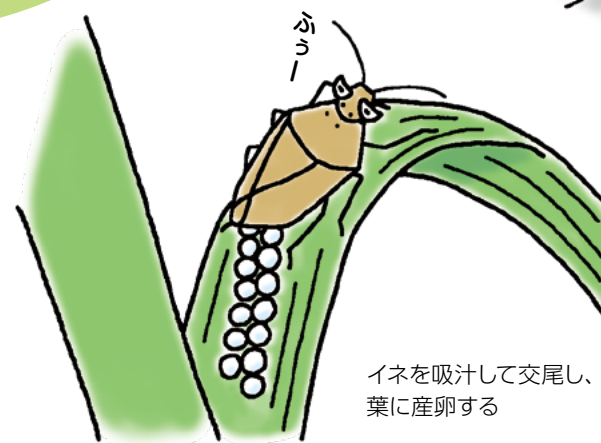
脇目も振らず、田んぼへGO!



イネの出穂とともに越冬場所を離れる。イネが大好きなので、アゼをすっ飛ばして水田に飛び込む

\*ときどき出穂前の水田で発見されることもあるが、理由はまだ不明

好物で力をつけて、交尾・産卵



イネを吸汁して交尾し、葉に産卵する



# 最低限の防除で 抑えるコツ

## 切り札「おとりイネ」に 集めて一網打尽

愛知県西尾市●尾崎大作

カメムシによる斑点米が問題になっています。当地でも私が就農した当時から、無人ヘリで防除し、色彩選別機で選別して、ようやくお米が売り物になる……そんな状況でした。こんなに大変なことなのか？ 何かがおかしい？と、疑問を持っていました。

### カエルやトンボを活かす

2012年にミニライスセンターを建設。2年後に法人化したのを機に差別化できるこだわりのお米を販売しようと考え、特別栽培米に取り組み始めました。殺虫剤を使わない米づくりへの挑戦です。米の検査基準はきびしく、斑点米などの着色粒が0・7%以上あると規格外になります。何として

も、上位等級で販売しなければ……と、試行錯誤を繰り返してきました。

以下、現在取り組んでいる戦略です。

### ▼①中干しを遅らせる

オタマジヤクシを大量にカエルに孵し、カメムシを食べてもらいます。6月中下旬の中干しを7月まで遅らせ、水管理を徹底しただけで、アゼでは信じられないくらいたくさんのカエルが跳びはねるようになりました。彼らは生きるために、カメムシだろうが何だろうが食べてくれます。

### ▼②出穂2週間前の草刈り

愚直に実行して、害虫の発生源を絶ちます。雑草の丈が長く、高い位置に

虫がいると、カエルが捕食しづらくなります。刈ってしまったら、この虫が一気にカエルの餌食になります。

### ▼③箱施用剤を使わない

調べたところ、箱施用剤でフィプロニル（プリンス）などを使うとアキアカネの卵が孵化しない、とのこと（『現代農業』2012年6月号）。私に真

偽のほどはわかりませんが、クモヤトンボなど天敵のことを考え、箱施用剤はほとんど使用せず、他の方法で補っています（今年はウンカ対策で一部の晩生品種のみ使用）。

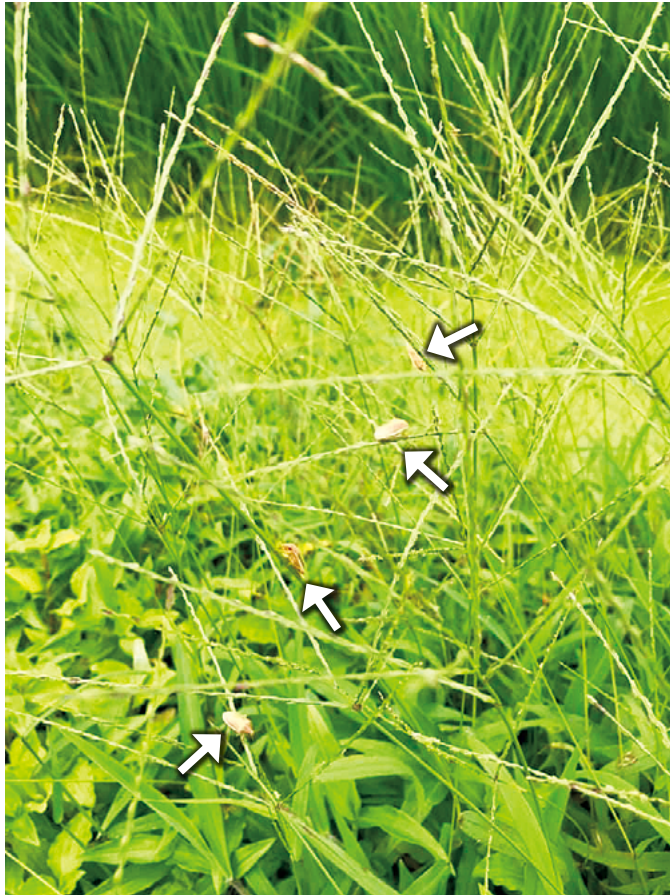
### 極早生品種に

### カメムシを集める

農業に頼らないことはそんなに甘く

ないと考えていた私は、以上の対策に加え、切り札として④「おとりイネ」を忍ばせました。おとりの田んぼをつくってカメムシを誘引し、そこだけ防除するという考えです。

イネカメムシなどは、最も早く出穂するイネに集まってきます。そこで、まずはエリアをいくつかに分け、エリアごとにカメムシを誘引する田んぼを



雑草に集まるイネカメムシ。他にミナミアオカメムシ、小型のカスミカメ類なども多い。発生源をなくすため、畦畔、堤防、道路脇の草刈りを徹底している



圃場のカエル。オタマジヤクシを育てるため、圃場の中に深さ10cmほどの溝を切って落水時の逃げ場をつくったり（直播圃場）、移植後の露地苗代を水たまりのまま維持したりしている（倉持正実撮影）



筆者。咲こう農場(株)代表。イネは約45haで、うち20haほどが特別栽培や有機栽培